

令和5年度 第1回水戸市新荘市民センター運営審議会

(日時) 令和5年6月28日(水)
午前10時30分から
(場所) 新荘市民センター 小会議室

(次 第)

1 開 会

2 議 題

- (1) 令和5年度運営方針及び重点目標
- (2) 令和5年度事業計画
- (3) 令和5年度定期講座(教室・クラブ)申込状況
- (4) その他

3 閉 会

(1) 令和5年度 水戸市新荘市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、感染症対策と地域活動の再開を図りながら、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等に合わせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発

表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(2) 令和5年度事業計画

区 分	対 象	事 業 名	備考
1 生涯学習事業 定期講座	一 般	<ul style="list-style-type: none"> ・26講座(1教室・25クラブ 5月～3月) ・作品展示会(4月～3月) 市民センター市民サロン 	
2 生涯学習事業	地 区 高 齢 者	高齢者学級(6月～11月) 4回	
	地 区 女 性	女性学級(6月～11月) 4回	
	小学生(保護者含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・新荘地区こどもエコクラブ(5月～3月) ・夏休み子ども教室 親(保護者)と子の料理教室 (7月22日) 夏休み！子ども絵画教室 (8月8日) ・かるた大会 (1月) 	
	未就学児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てふれあい講座 ・家庭教育講演会(ブロック単位)(7月31日) 	
3 コミュニティ活動推進事業	一 般	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニカール大会(5月21日, 2月中旬) ・新荘夏まつり (7月30日) ・エコリサイクル研修(1月17日) ・市民運動会(10月8日) ・歩く会(11月12日) ・新荘ふれあいまつり(3月3日) 定期講座発表会 バザー, 模擬店 	
4 その他	未 就 園 児	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場 毎月第4金曜日 10:00～11:30 	

(3) 令和5年度定期講座（教室・クラブ）申込状況

単位：人（6月14日現在）

No.	講座名	定員	継続	新規	合計	No.	講座名	定員	継続	新規	合計
教 室						18	フォークダンスさくら	20	11	0	11
K1	1.2才児親と子の音楽あそび	30	X	24	24	19	ふるさと歴史	24	16	2	18
						20	ペン習字	18	15	1	16
小 計		30	0	24	24	21	ヨーガ A	13	12	1	13
						22	ヨーガ B	20	13	4	17
1	囲碁	25	15	1	16	23	ヨーガ C	20	16	0	16
2	絵てがみ	20	19	1	20	24	ヨーガ D	13	10	0	10
3	歌謡	22	13	1	14	25	ヨーガ E	13	11	2	13
4	着付け	17	11	1	12	26					
5	コーラス	20	16	1	17	27					
6	古文書	20	12	1	13	28					
7	指圧	15	15		15	29					
8	書道	20	15	1	16	30					
9	石州流茶道	15	13	1	14	31					
10	太極拳	20	16	7	23	32					
11	卓球 A	20	15	4	19	33					
12	卓球 B	20	17	3	20	34					
13	男子料理	12	11		11	35					
14	ダンススポーツ	20	10	2	12	36					
15	手まり A	15	12	1	13	37					
16	手まり B	15	13	2	15	38					
17	童謡	42	36	2	38	39					
小 計		338	259	29	288	小 計		141	104	10	114
合 計								509	363	63	426

新規受講者数 63名

継続受講者数 363名

総受講者数 426名